

2000 名の職員がストレスなく利用できるメール環境を構築

兵庫県南東部に位置し、20 万人を超す総人口を有する宝塚市のス市政を担う宝塚市役所。グループウェア付属のメールでは管理・ユーザーニーズを満たすことが困難と判断し、グループウェアサーバのリプレイスを機にメールシステムを刷新。そこで選択したのは、新グループウェア「リンコムネクスト」とのシームレス連携が可能な Web メール搭載のメールシステム「CyberMail」だった。

導入前の課題

- ・日ごとに増すメールの量や職員数にシステムが対応できるか不安が募っていた。
- ・人事異動の度に必要になるシステムメンテナンスやアドレス帳の管理に非常に手間を取っていた。

導入製品



導入後の効果

- ・「グループウェア」「メール」を別サーバにすることによりストレスのない情報活用環境が実現できた。
- ・グループウェアとのシームレスな連携により、管理運用の負荷が劇的に軽減した。

■ 導入背景

グループウェア入れ替えを機にメールも刷新

兵庫県南東部に位置し、20 万人を超す総人口を有する宝塚市。宝塚歌劇団に代表される文化の発信地でもあり、毎年「関西ですんでみたいランキング」では上位に選出される人気のエリアである。また、近年では大阪や神戸のベッドタウンという位置付けだけでなく、老後を静かに暮らしたいというお年寄りにも人気があり、幅広い年代が住む街でもある。

宝塚市の市政を担う宝塚市役所の職員は、こうした幅広い年代の市民に満足をしてもらうために、日夜市民サービスの向上に知恵を絞っている。



(宝塚大劇場 花のみち)

そのような背景もあり、以前から職員の間での情報交換や共有はグループウェアシステムを通じて行われており、特にポータル機能を持つわけでもなかった仕組みであったにも関わらず、多くの職員に利用されていた。中でもメールのやりとり、相談は日常的に頻繁に行われており、業務を行う上でメールは切っても切り離せない重要な位置付けを占めていた。

ただ、当時のメールシステムはグループウェア付属のメールという位置付けで運用しており、日ごとに増加するメール量や職員数に今後耐えられるかどうか、管理者としてはとても不安な毎日を過ごしていたという。

そのような中、ハードウェアの老朽化によりシステム刷新の機会が訪れ、不安のない仕組みを前提にシステムの刷新を決定した。

■ 選定の理由

大規模導入ユーザへの訪問で 安心できるメールシステムと確信！

「システムの刷新にあたり、当初グループウェア付属の Web メールも検討したが、今後も増え続けるメール量やユーザ数に対して、「高速」だ「安定」した仕組みの提供を第一に考えたため、グループウェアとメールは同一の仕組みである事にこだわりはなかった。」とは、現在のシステム運用管理を行う宝塚市企画経営部政策室 情報政策課の皆さん。

「メールはすでに市役所内での情報伝達の大黒柱。導入した後で「重い」「使いにくい」という声は絶対に避けなければなりません。よって製品選定には我々が想定している以上のスペックが必要と思っていました。」

そこで担当者は CyberMail の大規模導入事例の一つである「立命館大学」へユーザ訪問を行い、実際の運用担当者と会話し、「立命館大学の 5 万を超えるユーザのメールシステムとして問題なく稼働している」という事実を聞かされる。

「他の製品ではこうした大規模なユーザの生の声もなかったし、立命館大学の 5 万を超えるユーザ規模でストレスなく稼働している CyberMail の事を実際の担当者から聞いて、これならうちに導入しても必ず期待に応えてくれるだろうな、と直感しました。」
こうした大きく悩むことなく CyberMail 導入へ舵をとっていくこととなる。

User Profile

宝塚市

<http://www.city.takarazuka.hyogo.jp>



住所：〒665-8665
宝塚市東洋町 1 番 1 号
市政施行：昭和 29 年 4 月 1 日
市長：中川 智子

■ 導入経緯

事前の下準備こそシステムの
入れ替えを成功させるコツ

新しいメールシステムの導入にあたり、必要と判断した要望事項は以下の4つ。

- ・ 1サーバで3,000アカウントを運用可能
- ・ 動作が高速で安定稼働が見込めること
- ・ 比較的安価に導入可能であること
- ・ グループウェアシステムとの連携が容易であること

「CyberMail」はメールサーバ機能を搭載した高機能 Web メールシステムであり、立命館大学の事例からも安定稼働に疑いの余地はなかった。また、「リンコムネクスト」の「CyberMail連携モジュール」(オプション)を利用することによりアカウントの一元管理、シングルサインオン、アドレス帳の共有等の連携が容易に行えた。

メールシステム切り替えの混乱を防ぐために、事前の下準備も入念に行ったそうだ。

「導入前に事前にデモサイトを構築し、ヘビーユーザに使い勝手を試してもらい、各部署での啓蒙に努めた結果、運用開始当初こそ多少の問い合わせがあったものの、その後は何の問題もなく利用してくれています。」

■ 導入効果

安定して動く当たり前の
メールシステムのありがたさ

実際に CyberMail を運用開始してからというもの、当初想定していた導入目的は全て果たしているとのことだ。

「今のところ全く問題なく稼働しています。当初は過去のシステムとの機能比較で要望を言うユーザもいましたが、時間がたつにつれそんな声もなくなりました。慣れの問題と新システムの安定感・使いやすさに満足している証拠です。」

また、大きな問題もなく、こうして運用できていることは市役所の担当者の苦労は言うまでもなく、その担当者を下支えしている会社の存在も大きい。

「CyberMail とリンコムネクストはアイテック阪急阪神さんからご提案を受けました。今回のシステムで初めてのお付き合いでしたが本当に安心して相談が出来るパートナーさんであり、頼もしく思っています。」

CyberMail が大規模でのユーザで問題なく稼働しているのもこうした有力な代理店の存在も大きいようだ。

■ 将来の展望

より使いやすいを
メールシステムを目指して

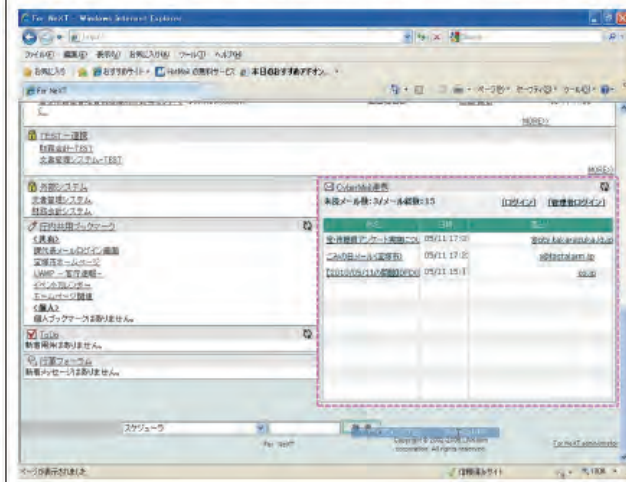
市役所では通常の企業にはないメールの文化や意識がある。たとえば市民の皆さんにメールを送付する際などは、より市民の声を共有するために個人アドレスではなく、共有アカウントで送信を行いやり取りを管理をすることもその一つである。そのため、個人のアカウントだけではなく、共有のアカウントにも同時にログインしたい等の要望が出始めている。

「CyberMail は機能的にも性能的にも今の段階では申し分ありません。ただ、今後うちのサービスがもっと良くなるために、メールシステムにも新しい要望や依頼などをユーザの目線でいろいろと提案していこうと思います。」

今の安定運用に満足せず、今後のさらなる市民サービスに目線を向ける宝塚市役所の今後の展開に注目していきたい。

■ リンコム ネクスト連携イメージ

「CyberMail 連携モジュール※」を組み合わせる事でリンコム ネクストに CyberMail で受信したメールの件名等を表示させることが可能です。



※「CyberMail 連携モジュール」はリンコム社が提供するオプション製品です。